

<h2 style="text-align: center;">唐津競艇場</h2> <p style="text-align: center;">～緑の中のレジャー空間。功罪論もあるが、市財政に貢献～</p>	分野	産業
	<p>唐津市営競艇場がオープンしたのは昭和28年（1953年）のことである。佐賀県内に唐津1カ所だけということで設立認可を受け、県モーターボート競争会が設立された。公営ギャンブルに反対する市民の声もあったが、唐津市の財政難を乗り越える切り札として松浦川川口の栄町地先に唐津競艇場がつくられ、8月7日に発足した。</p> <p>期待以上の人気を集め、市財政に大きな貢献をして、市体育館や小中学校などの公共施設建設の財源となった。しかし、競艇場の運営に問題が出てきた。川口にあるため干満の差が大きく、土砂の堆積もあって浚渫（しゅんせつ）工事などをして何とかコースの確保をしてきた。さらに、騒音や駐車場の問題もあり、新競艇場への移転が課題となり、松浦川上流の原地区の水田地帯を開発して移転することになった。</p> <p>新競艇場は昭和50年（1975年）1月に完成した。収容人員約2万人、駐車場は約4000台分を確保し、緑に包まれたレジャー空間として全国的にも注目を集めた。大型映像装置や舟券発売、払戻機の自動化などを進めたほか、小城市三日月町に大型スクリーンを備えた場外発売場を開設するなど、売り上げ拡大策を図ってる。</p> <p>ギャンブルの常として功罪が問題となるが、競艇場開設からの唐津市財政への繰り入れは延べ682億円にも上り、雇用効果も見逃せないものがある。</p>	<p>◎地図・写真・統計資料など</p>
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新競艇場の周囲にはスポーツ広場や国際交流広場などがある松浦河畔公園が整備され、休日には多くの家族連れでにぎわう。</li> <li>・昭和44年2月18日、本命艇が着外となり「八百長」と一部ファンが城内に乱入、約6時間にわたり無法状態となる。</li> </ul>	<p>◎引用・参考文献（出典）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆『唐津市史』</li> <li>◆『競走会50年史』佐賀県モーターボート競争会</li> </ul>	<p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p><b>唐津市近代図書館へお問い合わせください。</b></p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ：  <a href="http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html">http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</a></p>